

令和2年度 豊橋市立花田小学校自己評価書

| 中期目標                | 重点努力目標                          |  | 自己評価 | 総合評価 | 関係者評価    |
|---------------------|---------------------------------|--|------|------|----------|
| 日々の授業の充実による確かな学力の育成 | 基礎基本の定着を図る                      | 基礎・基本の確実な習得を行うために、漢字・計算チャレンジテストの充実を図る。   | A    | A    | Aで<br>適当 |
|                     | 「話し合う力」の育成を図る                   | 自分の考えと比べながら聴いたり、自分の考えをわかりやすく話したりすることができる力をつける。                                 | B    |      |          |
| 「コミュニティスクール」の体制整備   | 幅広く地域の教育力を学校に取り込んだ、地域力を生かした教育活動 | 地域教材の発掘、地域人材の授業への参加、コミュニティスクールを目指した保護者、地域人材の学校経営への参画を仕組む。                      | B    | B    | Bで<br>適当 |
|                     | 情報の積極的な発信                       | ① 地域や家庭に子どもの様子や教師の願いを積極的に発信する<br>② ホームページのさらなる充実を図り、学校の状況等を幅広く発信する。            | A    |      |          |
| 信頼される教師集団の構築        | 授業力の向上                          | 授業や学校・学年行事、クラブ活動などにおいて、保護者や地域の方と連携して行う。  | B    | A    | Aで<br>適当 |
|                     | 児童、保護者への対応力向上                   | ① 互いのよさを認め合い、学年内や部会などで連携して子どもを育てる。<br>② リスマネジメント、アガーマネジメントの研修を行い、信頼される教職員を育てる。 | A    |      |          |
| 「こころの教育」の継続         | 「花田タイム」と道徳教育の充実                 | ① 「花田タイム」の継続・充実により、「人・自然や言葉への感性」を高める。<br>② カリキュラムをもとに、道徳の授業の充実を図る。             | B    | B    | Bで<br>適当 |
|                     | 温かな学級集団づくり                      | ① 自分からあいさつできる子を育てる。<br>② お互いのよさを認め合う活動を計画的に取り入れる。                              | B    |      |          |

自己評価

A…十分に達成した

B…概ね達成した

C…あまり達成されていない

D…ほとんど達成されていない